- 日 時 平成二十九年七月七日 金) 第六限
- $\equiv$ 学 級 第三学年四 組 (男子 二十名 女子 二十名) 文系クラ ス
- 三 場 所 図 書室
- 兀 単 元 テあ レ レビ番組の制作と相互批評を通しの日宣旨は下された」 作品を深く鑑賞

## 五

- 1)古典を読んで、単元の目標
- 古典 などに表れ た思想や感情を読み取り、人間、社会、自然など内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 自然などに ついて考察すること。 (「指導事項」 のア)

### 六 取 ŋ 上げる言語活動と教材

- $\widehat{\underline{1}}$ いて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話図書館などを利用して古典などを読み比べ、そこに描 しかれ た人物、 0 たりすること。 情景、 心情 な どに 0
- (「言語活動  $\mathcal{O}$ ゥ
- $\widehat{2}$ 「道長と女院詮子」『大鏡』 (『古典 A 第一学習社

### 七 単元

- $\widehat{\underline{1}}$ 古典を読んで、内容を構成の具体的な評価規準 や展開 いる。 (知識 •
- $\widehat{\underline{2}}$ している。(読む能力) 古典などに表れた思想や感情を読 みに取即 り、人間、社会、自然などにして的確にとらえようとして 0 いて考察しようと

#### 指導観

- 単元
- える方法を学ぶことができる。と関連づけさせながら主体的・協働的に読むことで、歴史上の人物を語るという体裁をとり、歴史の表裏をいきいきと描写している。『大鏡』は、三人の老人と若侍が歴史語りをしていた場に居合わせ 人物の人間性や心情を捉る。そこで、様々な資料わせた人物が、聞いた話
- $\widehat{2}$ 学習者観
- あったり、 当時間が多いクラスであるが、学習に対してやや受け身的な傾向があり、 いたい。 することで、 学習態度は良好で、 、メディアリテラシーの能力や、古典に親しんで読む楽しさ味わ文章の読み取りのみで満足してしまう生徒もいる。主体的に考え、 グル プ学習の場面でも協力して行うことがで きる。 0味わう姿勢を養っえ、知識が断片的で 女系で古典の配
- 3 教材観
- なお、番組化することで、「物語の語り方」についてまで考えさせたい。を捉えることで、作品を自ら深く読解して味わうおもしろさを体験できなりがちである。様々な知識を考え合わせたうえで、登場人物それぞれ藤原氏の系図や当時の政情のあらましなどの歴史的背景がないと、内容 るの理 教人解材物が で像表 あや面 る心情に

	3 第 時 3	3 第 時 2	3 9 時 :	等 時次
	問次	間次	时间	1 時代
人評価に還元する。情を全体でまと	・活動内容の確認をする。・各班番組を発表する。・発表後、制作班は自己が一人にまた。・活動内容の確認をする。・活動内容の確認をする。・活動内容の確認をする。・活動内容の確認をする。・活動内容の確認をする。・	・補助資料を読み取り、 情報を活用する。 情報を活用する。 ・ 発表準備をする。	・本文の内容をとらえる。	で 記 記 で で 理
・優秀作品を選ばせる。 ・優秀作品を選ばせる。 ・優秀作品を選ばせる。 ・独内で話し合い、根拠を明確にして、他班評価も踏まえ、ルーブリックで・他班評価も踏まえ、ルーブリックで・他班評価も踏まえ、ルーブリックで・他班評価・自班を見て、心情を確認させる。・振り返りシートの質問項目について・説明する。 ・活動の意図を再確認することで、できるようになったことなどに気づかせたい。	・班内で話し合いにより、意見を統一・地一ブリックに従って相互評価を行う。・ルーブリックに従って相互評価を行う。・ルーブリックの説明を行う。・ボーブリックの説明を行う。・ボーブリックの説明を行う。・活動の意図を伝える。	・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。 ・活動の意図を伝える。	表表表の概念がある。 ・登場人物の相互関係を正しく押さえ ・登場人物の相互関係を正しく押さえ ・登場人物の相互関係を正しく押さえ ・登場人物の相互関係を正しく押さえ ながら、現代語訳させる。 当時の歴史的背景をつかませる。 させる。	ע ו
◆ シート) を で で で で で で で で で で で で で	◆(1)(2) ◆記述の確認(台本 を評論・評価の内 を評論・評価の内 と評論・評価の内	◆ マークシート) マークシート) 本	◆記述の点検 (ノー	評評

## +している。(「指導事項」のア)古典などに表れた思想や感情を読み取り、本時の目標 人間、 社会、 自然などについて考察しようと

+している。(「指導事項」のア) 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察しようと本時の評価規準

# 十二 本時(第3次の2時間目)の指導

る。各班の封筒に入れさせ、回収す・ワークシートや評価プリントを	認する。	や次時の学習内	終 結 3 分
を決めさせる。・班で検討したうえで優秀作品を	作品を選ぶ。・全班の発表を受けて、優秀	○ 禾 仏	
て に す。	表する。・順番が来た班は前に出て発	が操)図片。 他の三つの班 ・発表、評価を	
・番組の「おもしろさ」で評価す・根拠を明確にして評価させる。	る。ロークシー		
させる。 ・班で検討したうえで評価を決め	う。視聴班は、番組評論・制作班は、自己評価を行	・評価を行う。	
内容でで、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	7/211		
◆記述の確認(台本ワークシート、◇本時の評価規準祭・補助する。	ートにメモや加筆訂正をす応じて自分の台本ワークシ・他班は発表を見て、必要に	を 行 う。	4 5 分
表が円滑	初の班が発表を行う。	・班ごとに発表	展開.
違いを理解させる。・発表を評価する際の、レベルの	認する。・ルーブリックのレベルを確	容を知る。	導 入 2 分
言語活動における指導上の留意点	学習活動	学習内容	学習段階

# 十三 評価の観点とルーブリック

で 番組構成) で 工夫	(番組内容)	(番組内容)	観点レベル
わる。 いて、視聴者側によく伝表せる番組構成をとって 人物像や心情を効果的に	番組に反映させている。などを活用して把握し、登場人物の心情を、資料	番組に反映させている。料などを活用して把握し、料などの人物像を、資	5
る。 物像や心情が伝わってく 不十分な点はあるが、人 番組の構成上、表現面に	し、番組に表現している。書本文のみを根拠に把握登場人物の心情を、教科	る。 握し、番組に表現してい 科書本文のみを根拠に把 登場人物の人物像を、教	3
る。 とい番組構成をとっていらい番組構成をとってい	現している。物の行動のみを番組に表心情を表現せず、登場人	ている。い、誤った人物理解をし教科書や資料に基づかな	1

### ☆番組表

8	7	6	5	4	3	2	1	
3	2	5	6	7	4	8	1	Ch.
M S B	MHK教育	とくTV	プリンスチャンネル	テレビ 3 4	あけぼのテレビ	High Free FV	ONEチャンテレビ	放送局名
平安の貴公子道長ws親の七光り伊周	懐仁ってどんな人?	道長に宣旨下ったって、ま?	アメトーーーク ~道長大好き芸人~	Fスタジオ	おはよう道長	アメトーク 〜詮子大好き芸人〜	宣旨が下らないないばぁ	番組タイトル

## ☆番組の内容を、 左のルーブリックに沿って評価しよう

※自分の担当資料の内容が表現されていたら、必ず話し合い時に指摘しましょう。
※班長が中心となって、必ず班で話し合って評価を決め、別紙(各班1枚)に記入する。

### 〈ルーブリック〉

表現の工夫 表せる番組構成をとって 不十分 人物像や心情を効果的に 番組の	(番組内容) 番組に反映させている。 し、番心情把握 などを活用して把握し、 書本文 登場人物の心情を、資料 登場人	(番組内容) 番組に反映させている。 握し、 人物理解 <b>料などを活用して</b> 把握し、 <b>科書</b> 人物理解 登場人物の人物像を、資 登場人	観点 レベル <b>5</b>
や心情が伝わってく分な点はあるが、人の構成上、表現面に	<ul><li>番組に表現している。</li><li>文のみを根拠に把握人物の心情を、教科</li></ul>	、番組に表現してい 本文のみを根拠に把 人物の人物像を、教	3
くる。	現している。 現している。 地の行動のみを番組に表	ている。れ、誤った人物理解をしている。	1

	Ch.	ぼう	☆優秀作品を1つ選ぼう	作品	☆優
	番組評論	合計	C	В	А
			の評価	Ch. 6	3
	番組評論	合 計	C	В	А
			の評価	Ch.	2
	番組評論	合 計	C	В	А
			の評価	h.	5 C
	番組評論	合 計	C	В	А
			の評価	Ch.	6
	番組評論	合計	C	В	А
			の評価	Ch.	7
	番組評論	合 計	C	В	А
			の評価	h.	4 C
	番組評論	合計	C	В	А
			の評価	Or. 6	8
	番組評論	合計	C	В	А
			の評価	Oh. 6	1
「道長と女院詮子」相互評価シート	区女院詮	道	C h		

3 年
$\frown$
$\cup$
組へ
. `

	☆
に自分でこの授業での活	自分の班の評価を行い、
<b>然での活動を振り返ってみましょう。</b>	☆ 自分の班の評価を行い、他班からの評価をもらいました。それらを踏まえ
	まえて、 最後

該当するところに〇をつけ、感想をまとめましょう。

- 登場人物の人物像や心情を、 ち)で考える」ことによって、より深く捉えることができましたか。 グループで検討したり、 補助資料をもとに「自分(た
- よくできた ある程度できた • あまりできなかった • 全くできなかった
- 2 補助資料以外にも情報を収集し、 活用することができましたか。
- ( よくできた ある程度できた • あまりできなかった・ 全くできなかった)
- 3 この授業での活動を通して、「物語の語り方」について考えることができましたか。
- ( よくできた • ある程度できた・ あまりできなかった・ 全くできなかった
- 4 この授業での活動を通して、 効果的な表現方法を工夫することができましたか。
- よくできた • ある程度できた・ あまりできなかった ・ 全くできなかった )
- 5 相互評価を行う際は、 根拠を明確に評価を行うことができましたか。
- ( よくできた • ある程度できた • あまりできなかった • 全くできなかった)
- 6 この授業での活動を通して、本文理解を深めることができましたか。
- ( よくできた ある程度できた • あまりできなかった • 全くできなかった)
- 7 この授業により、 自ら深く読解して作品を味わうおもしろさを体験できましたか。
- ( よくできた ある程度できた • あまりできなかった • 全くできなかった)
- 8 思いましたか。 この授業により、 **今後、** 様々な作品を読むときに読み方が変わる(変えよう)と
- そう思う まあそう思う あまり思わない 全く思わない

【班活動や発表についての感想】

〈活動内容〉

				$\bigcirc$		☆	$\Rightarrow$			$\Rightarrow$	١.
		◎  役  割	◎ 番 組 夕	◎番組形態		☆ ・・制 番番作 組組の	・ → パ → た イ 必 作 必 ワ 必 だ ン 要 時	$\widehat{4}\widehat{3}\widehat{2}$	$\widehat{\underline{2}}\widehat{\underline{1}}$	道	
	班員		イ	形 態	組	: 組組の : ののポ : 表内イ	必ワ必だン要時要一要しまにの オポが、一応注	発番必》 表組要	※ ※ シ補 <b>最</b> ・ ※ ー 助 も	長と女	1 1
			トル	例		の 内 内 フ フ フ フ フ フ フ フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ	料イあウネじ意 はンれィッて事	発表に向けて、 番組タイトルも 必要な役割をも	番組化に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「道長と女院詮子」	 
				 ワ		☆	要トばキト、項 相使コペをさ☆ 談いピデ使ら 。たーィ用に	て、を考り	※ 番組は5分以内より ※ 番組にする時は、※ 多年に各自で記入ジート」に各自で記入補助資料をもとに、人補助資料をもとに、人	_	
			※ 注 意 点	イドシ	C h	社やをはお	けでアし沓	て、動きないを考えない。	外でに情いない。	教科	1 1 1 1
	役 割		息点:	∃ 	番	る用にで	れき自た料 ばま体場を	なよみし どうめま の。を	します。 <b>必ず人が</b> 人しよう。 人物像や	<b>音</b> P 3	1 1 1 1 1 1 1
			一 人 称	ドキ	番組制作企画書	番組化するにあたって、資料を活用できているか	C & ~	発表に向けて、動きなどの練習をしよう。番組タイトルを考えよう。必要な役割を考え役決めをしよう。	組よら分以内とします。 組化する時は、必ず人物像や心情を反映さら、に各自で記入しよう。 「以外のでは、人物像や心情がうかがえるなり、人物像や心情が伝わる番組形態を考えよう。	2 L	
			の語り	ドキュメン	企画	てるか	し は 出 ま 可 を す。	を う し゜。	心情がる	9まで	1 1 1 1 1 1
<b>I</b>			, と  -	Ļ,		創、意人		う。	情である。	<u></u> を 来	1 1 1 1
	班員		人称の語りと三人称の語りの	バラエテ	〈班ごと記入〉	創意工夫されて、人物像や心情	ノー リーますワー プー	ま た、	します。 必ず人物像や心情を反映させること。 必ず人物像や心情を反映させること。 べしよう。 へりよう。 でか像や心情がうかがえる台詞・動作る番組形態を考えよう。	教科書P32L9まで」を番組化-	1 1 1 1 1
	員		語 り の	ティ	と 記	れ心て情	な 実ク ど 際シ	必要	せ る ・ ・	しよう☆	 
			メリッ		入	いが る かれ	も の   作 本ト	必要に応じて	動作	<b>う</b>	
			<b> </b>			°てい	て も もた書	じて	本 文 さ		] [ ] [
	役割		デメリ			る か。	リップなども作っても良いです。ます。実際の本にあたること。本ワークシート」に書いておく。	小道具も準備しよう。	動作などを考え		1 1 1 1
	히						す。。く。	も <u>準</u>			1 1 1 1
			考えて					ííi し よ	の台詞は		1 1 1 1
			ットも考えてみよう。					<del>ن</del> أ	まの台詞は不可て「台本ワーク		1 1 1 1
			う。[								 

〈場面〉	
〈役割〉	C h
〈発言・行動〉	「道長と女院詮子」台本ワークシート 🛛
〈人物のは	○ 組 へ 1
〈人物の状況・心情〉	〉 番自 入
〈メモ欄〉	

〈場面〉	
 (役割)	C h
〈発言・行動〉	「道長と女院詮子」台本ワークシート 🗔
〈人物のお	( N o · 2 · 2
〈人物の状況・心情〉	〉番 各自記入
〈メモ欄〉	

**、**な

持ち物:台本ワークシート※遅刻厳禁、身だしなみ注意、<br/>※7月7日(金)3限・6限古<br/>
※3、2000<br/>
※3、3、3、3、3、3、4、5、5、4、5、5、5、5、5、5、5<br/>
※4表の流れを確認しよう☆ ト(絶対忘れない!)、小道具、忘れ物をしない(取りに戻れ)古典は図書室で行います。 6161 つもの 古典A 授業の 用

#### 3 限

総合司会挨拶 木塚さん 鎌田さん

### 1 班 の 発 発表 (5分以内)

- 1 ソートに赤ペンでメモ(加筆修「台本ワークシート」で、班単と堂々と発表しよう。 61 ように 顔 を上げ る
- 筆班修単 心正など)を単位で評価.
- 班(視聴者):自分の台本ワークシー班(視聴者):自分の台本ワークシー→発表内容は、当日の発表や「台大きな声・身振りではっきりと堂班:台本ワークシートを持って発表し 視聴する 加 を取りながら回します。
- 各自の 「台本ワー クシ  $\vdash$ は、 個人単位で評価します

## 3

- 「相互評価ワ クシ でする。
- ※番組の「おもしろさ」で※評価は班長が中心となっ・ 1班:班で話し合い、1・ 1班の評価(5分) 」で評価するのではないのなって必ず話し合って、セークシート」に評価とコメーク・サーがの番組内容を〈ルー らいので、注意。、 根拠を明確にして決めること。、 根拠を明確にして決めること。こコメントを記入する。(ルーブリック(注)) に従って評価すいーブリックの班の評価とコメントをート」に自分の班の評価とコメントを

## <u>4</u>

- ・1班の評価につい説明を聞く 7 説明を聞き、 今後の評価の指針とする
- 5 ※発表の入れ替わりや準備等、移動を速やかにしましょう!(2)・(3)を8・4・7班も繰り返す。一つの班の番組~評価までは 0分
- 6 授業終了 時、 封筒に 「台本ワ クシ 以外をすべて入れ、 前に持ってくる

### 6 限

- 総合司会挨拶 木塚さん 鎌田さん
- 2 ※発表の 入れ替2・3 替わりや準備等、移動を速やかにしまし3班の発表と評価を3限同様に進める。 ょー う つの 班  $\mathcal{O}$ 番 組 **〉**評 価 まで 0
- 3 ※班長が中心と優秀番組を1 ・心となって、 て必 必ず話して相互評価 合って 根拠を明確にして決めること。」に記入する。
- <u>4</u> 次 時  $\mathcal{O}$ 説 明を聞く
- 5 授業終了 時 封 筒に 台本ワ ŧ 含めてすべ て 'n 前に 持ってくる。
- 6 授業終了後、 す  $\sqrt{}$ て  $\mathcal{O}$ 机とイスを元通りに素早く戻 abla教室へ戻る。

## ーブリック

	1		
(番組構成) 表現の工夫	心情把握 心情把握	(番組内容)	観点レベル
わる。 れいて、視聴者側によく伝生表せる番組構成をとって工人物像や心情を効果的に立	番組に反映させている。 登場人物の心情を、 <b>資料</b>	番組に反映させている。登場人物の人物像を、資	5
る。 物像や心情が伝わってくる。 不十分な点はあるが、人 らい不組の構成上、表現面に 人物	<b>書本文のみ</b> を根拠に把握 <b>書本文のみ</b> を根拠に把握 登場人物の心情を、 <b>教科</b>	る。 握し、番組に表現してい 科書本文のみを根拠に把 登場人物の人物像を、教	3
る。 らい番組構成をとってい 人物像や心情が伝わりづ	現している。物の行動のみを番組に表心情を表現せず、登場人	ている。い、誤った人物理解をし教科書や資料に基づかな	1

に指摘する! と おがまり おがまり おがれていたら、 おがまし合いもの おがまり かんり おり おり おり おり かん おり かん おり かん 担当資

### ☆発表の流れを確認 ※ 発表の流れを確認 : 台本ワークシー(金) 3限・6間(金) 3限・6間 シ注 6 う 1 意 **限**☆

(取りに)います。 ・)、小道具は取りに戻れれ うな 6161

ト(絶れた) ||対忘れない| |物をしない( |**図書室**|で行) つもの古 典 A 授 業  $\mathcal{O}$ 用

### 3 限

総合司会挨拶 木塚さん 鎌  $\blacksquare$ さん

### 2 1 発表 (5分以内

- 1 班 班の ソートに赤ペンでメモ(加筆修「台本ワークシート」で、班単と堂々と発表しよう。表して良いが、なるべく見ない 61 ように 顔 を上 げ る
- 修単 価 取ま
- 班(視聴者):自分の台本ワークシー→発表内容は、当日の発表や「台大きな声・身振りではっきりと学班:台本ワークシートを持って発表し 筆班 『正など) をし り ながら

各自の「台本ワ クシ 個人単位で評価

## 3

- 1 班 班班の すをる記 する。
- .... 一班班価 「おもしろさ」で 現で話し合い、1 切で話し合い、1 切で話し合い、1 のではないので、注意。し合って、根拠を明確にして決めること。に評価とコメントを記入する。内容を〈ルーブリック(注)〉に従って評別でありました。 て評価 価
- ※番組 \*\*

## 4

- ・1班の評価につ説明を聞く 61 て、 説明を聞き、 今後の評価の指針とする
- 5 ※発表の入れ替わ(2)・(3)を8・ 替わりや準備等、8・4・7班も繰 移動を速やいのである。一つ いかにしての班の ₹ <u>0</u> ましょう 番組~ う ! ?評価 まで は 0
- 6 授 業終了 時 封筒 に 台本ワー クシー 1 外をすべ 、て入れ、 前 に 持 ってくる

#### 6 限

- 1 総合司会挨拶 木塚さん 鎌 価さん
- 2 ※発表  $\hat{o}$ 入2れ・ 替 3 わりや準備等、移動を速やかにしまし班の発表と評価を3限同様に進める。 よー つの 班  $\mathcal{O}$ 価 まで 0
- 3 ※班長が が組 中を 心 1 とう な選 っぴ abla必 必ず相 う話し三互評し 合っ て、 根拠をこして記れ 明確に入する  $\cup$ abla決 めること
- <u>4</u> 次 時  $\mathcal{O}$ 説 明を聞
- 5 授 (業終了 時 封筒 台 本 ワ クシ も 含 め て すべ て 入 れ 前 持 つ てくる
- 6 授業終了後、 すべて  $\mathcal{O}$ 机とイスを元通りに素早く戻し Ť 教室へ 戻る

# 全 のさ

- の向きをかえる。
- ま評番番体た価組組に 、やをの注自番視視意 当のいでて 当資料の内容が番組に表現されていたのコメントは、班で話し合い、ヘルーいるときは、必ずメモをとる。での話し合いは、必ずイスごと身体のてほしいこと(その都度喚起して下さ いたら、 話し合い内で指摘すること。ック〉に従って根拠明確にし て決めること。
- \* を3 考限 えの て最 お初 いの て挨 下拶 さへい振 °Ŋ ます) と終 わり  $\mathcal{O}$ 言 6 限 の最 初 の挨拶 (振り ます) と最後  $\mathcal{O}$ 挨拶
- ※番組を始 める 時 は、 〇チャ ンネ ル 【放送局名】  $\mathcal{O}$ 【番組 夕 ル] を紹 介 て下さ
- **※** 加番え組 てが 下終 さわ いっ そ時 のは、 後、「( 評価に ίΞ 移る 指ル 『示を出して下』 さの 、番組タ 1 1 ル でした。」と言い 何 か 言付 け
- \* 6進 限(3)までで時間が余ったら、優秀作行は、早すぎず、遅すぎずでよろしく 優秀作品の結果発表をして下さい